



兵庫県公立大学法人 兵庫県立大学
先端医工学研究センター
第32回 医工連携セミナー

The 32th AMEC Medical Engineering Seminar



2021年10月1日(金) 18:00~19:00

会場: オンライン開催 (ZOOM)

開催前日までに事前登録が必要です (定員 200名)

講師 ^{さぬき}佐貫 ^{つよし}毅 先生

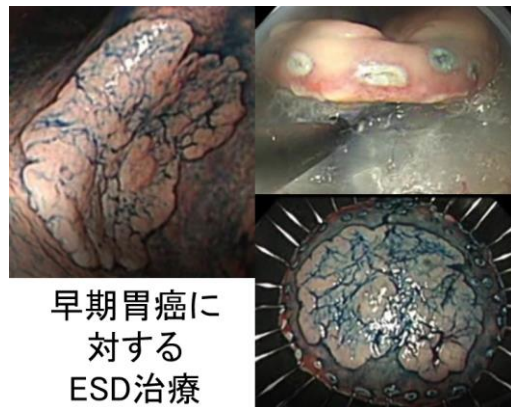
社会医療法人 製鉄記念広畑病院
消化器内科部長兼内視鏡センター長

「消化器疾患診療の現状とアンメットニーズ」

消化器は多数の臓器(口腔・食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆道・膵臓)で構成され、また逆流性食道炎、ピロリ菌感染、肝炎や膵炎などの良性疾患から、胃癌や膵癌など悪性疾患まで幅広く疾患が存在します。

これら消化器診療の中では、血液/尿/便検査などの検体検査、腹部エコー/GT/MRIなどの画像診断とともに、消化器内視鏡が欠かせないものとなっています。一昔前まで、開腹して外科手術を行っていたような疾患も、内視鏡を用いて開腹せずに安全に治療が完遂するものも出てきています。

消化器内科医は高精度な内視鏡を使用し、炎症だけではなく消化器癌(食道癌、胃癌、大腸癌など)を発見し、早期で粘膜内にとどまる癌であればESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)で切除します。また現在も早期発見が難しく難治癌と言われている膵癌も早期発見する試みが始まっています。しかしながら使用できるデバイスや材料にはまだ改良・改善の余地があり、確実にアンメット・ニーズが存在します。本講演では消化器診療の現状を提示し、医工連携のアイデアを探求したいと思います。



早期胃癌に対する ESD治療

講師プロフィール



佐貫 毅 (Tsuyoshi Sanuki, M.D., Ph.D.)
1995年(平成7年) 自治医科大学医学部卒業
卒業後は兵庫県立淡路病院で初期研修し、その後は僻地医療にも従事。明石市立市民病院で消化器内視鏡の研鑽を積み、2008~神戸大学で指導教官として膵胆道内視鏡を行う。2011年~三木市立三木市民病院・消化器内科部長、2013年~北播磨総合医療センター・消化器内科部長を歴任し、2021.7月~製鉄記念広畑病院・消化器内科部長に就任。専門は膵胆道内視鏡(ERCP/EUS)。

主催: 兵庫県立大学先端医工学研究センター

共催: 神戸リサーチコンプレックス協議会 ・ 日本医工ものづくりコモンズ

Language(言語): Japanese (日本語)

参加受付フォーム: https://zoom.us/webinar/register/6816297005562/WN_1HZCkpyQCegt2up6MD2EA

ご不明な点がございましたら、兵庫県立大学先端医工学研究センター事務局 (info@amec-hyogo.org) までご連絡ください。



AMEC

Advanced Medical Engineering Center